

MIRAI

[人と防災未来センターニュース]

[人と防災未来センターニュース]

発行／阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



Vol.

22

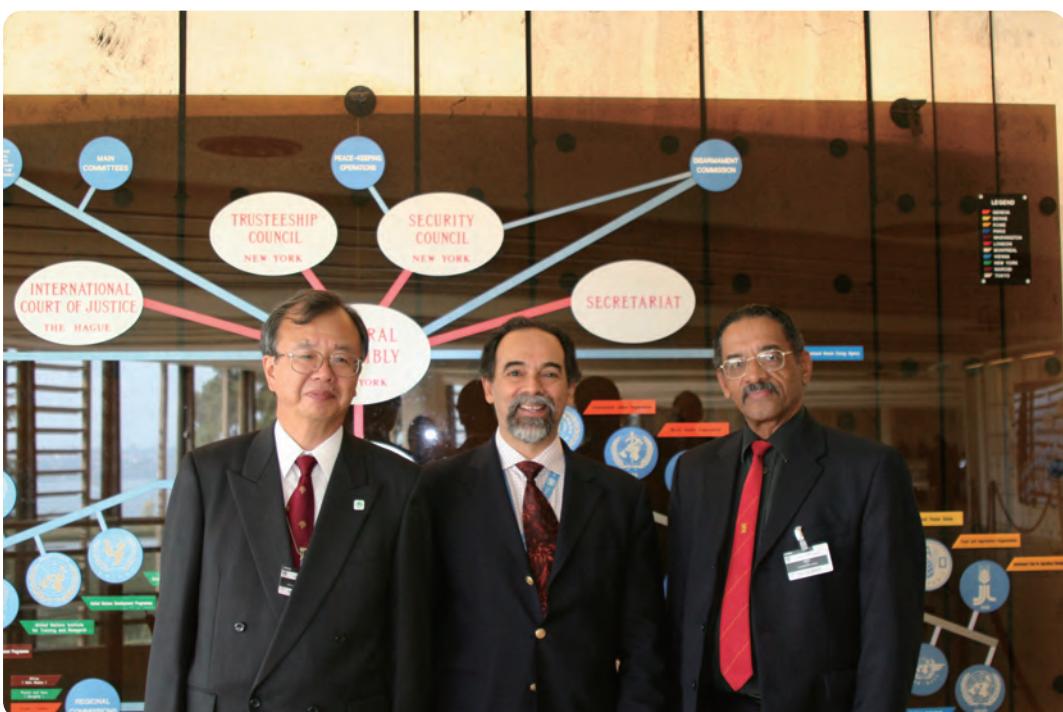
Contents

センター長が国連SASAKAWA防災賞を受賞	1
ISDR兵庫事務所開設／賈慶林中国政協主席ご来館	3
資料室リニューアルオープン	4
資料室からのおすすめ／震災資料紹介vol.1	5
防災未来館企画展	6
防災Q&A	7
「絵本ひろば2007」の開催について	8

河田センター長が国連SASAKAWA防災賞を受賞

平成19年10月10日、国連の定める「国際防災の日」にスイス・ジュネーブの国連欧州本部において、河田惠昭(かわたよしあき) 人と防災未来センター長が、国連国際防災戦略(UN／ISDR)から国連SASAKAWA防災賞の受賞者として表彰されました。

国連SASAKAWA防災賞(国連国際防災戦略事務局 UN／ISDR)は、同健康賞(国連世界保健機構 WHO)、同環境賞(国連環境計画 UNEP)とともに1986年に設立され、毎年、災害の予防・予測準備体制の強化などに著しい貢献をした個人・機関が顕彰されるものです。我が国からは初の受賞者で、防災教育に関する施設の長としても初めての受賞となりました。(2面に続く)



(写真) 左から河田センター長、サルバド・ブリセニョISDR事務局長、もう1名の受賞者であるカリブの著名な建築コンサルタントのトニー・ギブス氏(授賞式典後、国連欧州本部にて)

表彰式では、ISDRのサルバノ・ブリセニヨ事務局長から、河田センター長ともう1名の受賞者であるトニー・ギブス氏に表彰状が手渡された後、受賞者によるスピーチが行われ、河田センター長からは人と防災未来センターの活動が紹介されました。

引き続き、河田センター長をこの賞に推薦した英国クランフィールド大学のイアン・デービス名誉教授が壇上に上がり、その推薦理由を次のように述べられました。

「河田センター長の30年以上にわたる研究活動と、それら各種研究の成果を社会へ普及し市民の防災意識を高めてきた活動は高く評価されるべきである。その中でも、阪神・淡路大震災の苦い経験を後世に活かそうと震災後新たに設立された防災の教育施設である人と防災未来センターについて、立ち上げから今日に至るまでの運営を成功させ、日本のみならず世界中から来館者を迎える施設にまで導いた指導力を高く評価した。私も何度もこの施設を訪れたことがあるが、いつも多くの学生や市民が見学しており、この種の施設としては、世界に例を見ない盛況ぶりである。」

当センターでは、この受賞を励みに我が国を代表する防災教育施設として、更なる努力を続けてまいりたいと考えています。



(写真) 授賞式典でスピーチをする河田センター長

● <国連国際防災戦略 (ISDR)について>

国連における防災の基本戦略。通常は、その実施を担う組織を指す。90年代の「国連国際防災の10年」事務局を引き継ぐ形で、2000年に正式に発足。2005年1月に神戸で開催された「国連防災世界会議(兵庫会議)」の事務局を務め、同会議で採択された「兵庫行動枠組(災害被害を軽減するため、2005年～2015年の10年間で各国がとるべき具体的行動計画)」の実施に向けた調整を実施している。

国連国際防災戦略（ISDR） 兵庫事務所が人と防災未来センター内に開設



の情報交換を積極的に図りたい。」と述べられました。

ISDRの拠点としては9か所目となる兵庫事務所は今後、東アジア各国の行政機関や防災機関などとのネットワーク作りを進めることとしており、災害に強い国やコミュニティー作りの拠点となることが期待されます。

国連機関の国際防災戦略（ISDR）の兵庫事務所が、人と防災未来センター（ひと未来館5階）に開設され、10月14日に記念式典が行われました。

記念式典後の記者会見で、ISDR事務局長のサルバノ・ブリセニヨ氏は、「阪神・淡路大震災を経験し復興した神戸は、どこよりも災害の被害を減らすための知識を持っている。兵庫事務所はそうした情報を世界に発信する重要な拠点になる。」と述べられました。

また同席した井戸敏三兵庫県知事は、「防災に関するシンポジウムを開くなど、市民レベル

賈慶林中国政協主席 ご来館



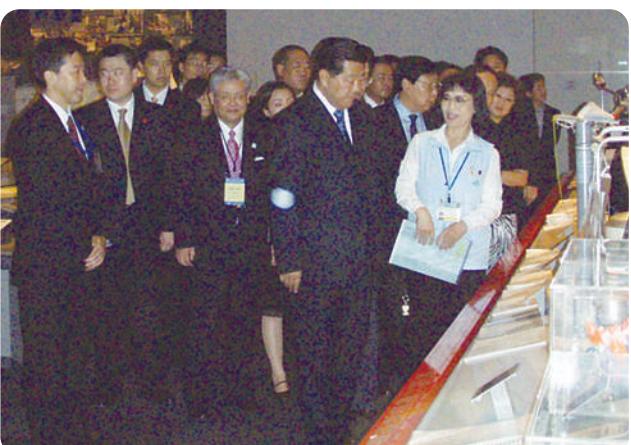
第9回世界華商大会出席のため、神戸を訪れていた中国共産党序列第4位の賈慶林（か けいりん）中華人民政治協商会議全国委員会主席が、9月15日に人と防災未来センターにご来館されました。

（写真左）

最前、右から賈主席、齋藤副知事、山本副センター長

（写真下）

ボランティアの王さんの説明に耳を傾ける賈主席（中央）



当日は、兵庫県の齋藤富雄副知事、山本健一副センター長がお出迎えをし、運営ボランティアの王希珠さんによる館内の展示説明に熱心に耳を傾けておられました。

資料室がリニューアルオープンしました

2008年1月予定の防災未来館のリニューアルに先がけて、センター資料室が5階に移転し、10月30日(火)にリニューアルオープンいたしました。

資料室では、センター開館以来、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、記録を残すため、また今後起こり得る大災害の研究のために、資料の収集・保存・公開を行ってきました。今回のリニューアルにあたり、震災資料の収集・公開業務を継続していくと共に、地域の方に気軽に資料を利用していただけけるよう、明るく開放的な空間に生まれ変わりました。

大震災のとき人の命を救い、心をなごませたひとしづく、ひとすくいの水への想いが込められた「滴水の庭」を眺めながら、図書やビデオなどの資料を閲覧していただけます。

**5Fに移転しました!
是非お越し下さい。**



▼ 5Fの様子です



中庭に面した、明るい書架です。ゆっくりと資料をご覧いただけます。



防災すごろくゲーム『ぐらぐらタウン』



豊かな景観に浸りながら、資料検索をしていただけます。



防災ゲームなどの防災学習教材も多数揃えています。是非ご利用下さい。

資料室からのおすすめ



☆資料のご案内

<映像資料の閲覧>

資料室では、阪神・淡路大震災の概要及び復旧・復興の状況などのドキュメンタリー、災害時対応の為の防災、耐震などに関するビデオ・CD-ROM・DVD約500本を所蔵しております。資料室で鑑賞していただけますので、是非ご利用下さい。

★ビデオ貸し出し

学校や自治体などの団体向けに、ビデオの貸し出しをしています。防災学習・研修に活用していただけます。申込み受付を随時行っておりますので、詳しくは資料室までお問い合わせ下さい。

☆地震に強い住まいを考えましょう

<活断層地図>

資料室で所蔵している『活断層地図』を使って、活断層を見ています。

現在お住まいの街の、あるいはこれから住まいを建てられる街の活断層を調べてみませんか？

<木造住宅耐震診断>

資料室のパソコン上で、あなたの住まいの簡易自己耐震診断をしていただけます。

震災資料紹介

Vol. 1

このコーナーでは、当センター所蔵の震災資料を紹介します。
今回、ご紹介する資料は、今年度に提供された資料のうちの1つです。

資料
解説



「近畿地区
アマチュア無線
非常通信ネット」腕章

この腕章は、震災が起こった平成7年1月から3月末日まで、資料提供者が無線による通信活動を行うときに腕につけていたものです。震災直後は停電状態だったため、発電機によって無線通信を行い、安否情報を得ていたそうです。その後、避難所などの情報を得て、どこで何を配布しているかなどの情報を発信するようになりました。こういった情報発信の活動は、3月末に電話が開通するまで行われました。

人と防災未来センター 資料室（防災未来館5F）

〈開室時間〉9:30～17:30(7～9月は18:00)

〈閉室日〉月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日

〈TEL〉078-262-5058 〈FAX〉078-262-5062

● ● ● 防災未来館企画展 ● ● ●

●「人間の安全保障写真展」



今、世界の各地で人々が直面する武力紛争・貧困など、深刻な脅威に対処するため、「国連人間の安全保障基金」を活用した事業が行われています。



タンザニアやカンボジア、ホンジュラスなど、この事業の恩恵を受けた人々の姿を紹介する写真展を、10月16日(火)から21日(日)まで開催しました。あわせて、藤原紀香さんが東ティモールで撮影した写真も展示しました。

●「第10回ジャンボひまわりコンテスト」と 「第2回わたしのひまわりものがたり絵日記エッセイ」



全国から寄せられた、ひまわりの栽培記録58点と、ひまわりにまつわるエピソードをイラストと文章でつづった絵日記エッセイ29点を、9月26日(水)から平成19年10月14日(日)まで展示しました。



阪神・淡路大震災当時、瓦礫の街に咲き、心のささえとなったひまわり。その後も復興を果たした神戸市内に、そして市民一人ひとりの心の中に咲き続けています。そしてひまわりの輪が神戸から少しずつ全国へ広がりはじめている今、その原点を見つめ続けようと開催しました。

防災 Q&A

Q

地震の揺れには、P波とS波の2種類があると聞くのですが、何が違うのですか？

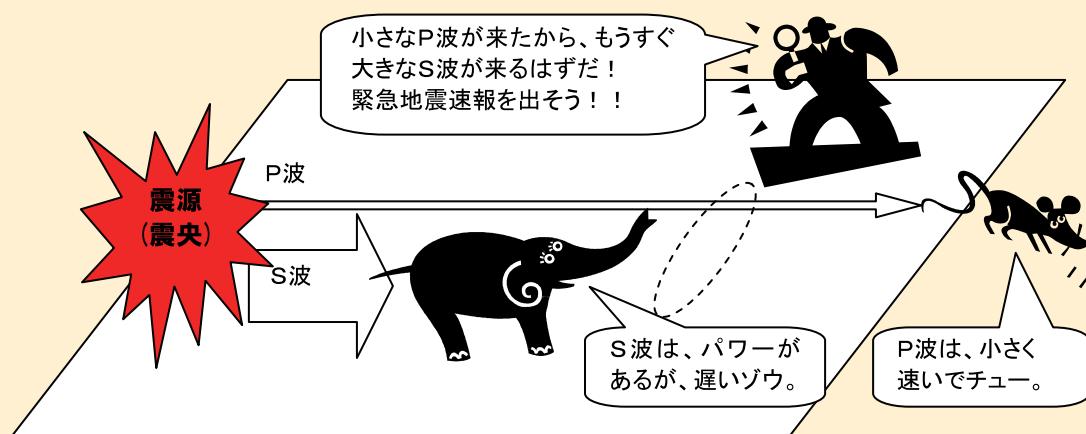
A

地中には、断層やプレート境界と呼ばれる歪みのたまつた弱い場所があります。ここが突然大きく壊れて震源となり、地震が発生します。地震は、P波とS波の二つの揺れとなって、地中を伝わります。P波とS波は、どちらも地震の揺れを伝える地中の波ですが、大きな違いは「伝わるスピード」と「揺れの大きさ」です。（専門的には、P波は地中の密度の変化が伝わる縦波（疎密波）で、S波は地中の形の変化が伝わる横波という違いがあります。）

P波は初期微動と呼ばれ、スピードが速くて（5～7km／秒）、小さな揺れの波です。一方、S波は主要動と呼ばれ、スピードは遅い（3～4km／秒）ですが、破壊力のある大きな揺れの波です。ほとんどの場合、建物や町を壊す大きな被害はS波によって引き起こされます。そこで、S波が来る前に「速くて小さなP波の揺れ」を見つければ、その後に来るS波の大きな揺れに備えることが出来ます。この仕組みを利用したのが、今年10月から一般利用が始まった「緊急地震速報」です。

ただし、震源の近くでは、P波とS波がほぼ同時に到達します。この場合には緊急地震速報も効果がありませんので、ご注意下さい。

（研究員 紅谷昇平）



[参考]緊急地震速報について

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

ひと未来館「絵本ひろば2007」 ～音の楽しさ、感じる絵本～ の開催について

ひと未来館では絵本による豊かな心の育みを目指し、「音・音楽を感じる」をテーマに企画展「絵本ひろば2007」を平成19年12月24日(月・祝)まで開催中です。

約120点の絵本を通じて、まちの音、まつりの音、楽器の音、自然の音などを感じていただけます。自由に手にとって「絵本による音楽会」をお楽しみください。絵本のよみきかせや絵本づくりも体験できます。

詳細はホームページ(<http://www.dri.ne.jp>)をご覧ください。

土曜・日曜・祝日には、「ふれあいプログラム」にて、「絵本ひろば」にちなんだ企画のプログラムをご提供いたします。

皆様のご来館をお待ちしております。

* ひと未来館の入館料(大人500円)が必要です。

兵庫県内の小・中学生は、ココロンカードを提示すれば無料です。



震災の記憶を風化させないために・・・

平成20年1月 防災未来館リニューアルオープン

「友の会」会員募集中

人と防災未来センター友の会は、センターの活動に協力し、積極的に利用して防災対策の大切さといのちの尊さを学習しようとする人々の親睦を深め、センターと連携しつつ、社会の防災力の向上に寄与することを目的に設立されました。

どなたでも入会できますので、たくさんの方の入会をお待ちしています！



会員特典

1. センターへ無料で入館できます。
2. センターの最新情報が手に入ります。
3. 友の会のイベントに参加できます。

年会費

個人会員	3,000円
法人会員	一口 50,000円
郵便振替 : 00940-2-160211	
口座名 : 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター友の会	

MiRAi

[人と防災未来センターニュース] Vol.22

発行／阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

お問い合わせ先

(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区浜海海岸1-5-2
総務課／TEL.(078)262-5060
観覧案内／TEL.(078)262-5050
ホームページアドレス／<http://www.dri.ne.jp/>

●開館時間 9:30～17:30(入館は16:30まで)
ただし、7～9月は9:30～18:00
(入館は17:00まで)
金・土曜日は～19:00(入館は18:00まで)

●休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
年末年始の12月31日と1月1日
※ゴールデンウィーク(4月28日～5月5日)期間中は無休

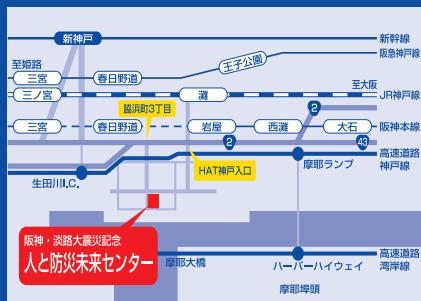
●入館料金(団体は20名以上)

区分	防災未来館		ひと未来館		両館	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
大人	500円	400円	500円	400円	800円	640円
高校・大学生	400円	320円	400円	320円	640円	510円
小・中学生	250円	200円	250円	200円	400円	320円

※兵庫県内の小・中学生はココロンカードを提示すれば無料。

障害をお持ちの方及び兵庫県内在住で65歳以上の方は上記の半額。障害者手帳又は年齢・住所のわかるものを提示ください。

交通マップ



■交通 鉄道／阪神「岩屋駅」「春日野道駅」から徒歩約10分・JR「灘駅」南口から徒歩約12分。

阪急「王子公園駅」西口から徒歩約20分。

バス／JR・阪神・阪急・神戸市営地下鉄「三宮駅」から約15分。

神戸市営バス

三宮駅前から約1時間間隔で運転。

阪神電鉄バス

三宮駅前から約30分間隔で運転。

車／阪神高速神戸線「生田川ランプ」から約8分・阪神高速神戸線「摩耶ランプ」から約4分・阪急・阪神「三宮駅」から約10分。

■駐車場 有料駐車場(普通車100台駐車可能)このほか近隣にも有料駐車場があります。

■バス待機所

予約制／無料

観覧予約時に待機所利用のご予約をお願いします。

ご意見・ご感想は事務局まで。